

超小形端子台形信号変換器 M5・UNIT シリーズ

取扱説明書	絶縁付	形式
	カップル変換器	M5TS

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・変換器（本体+冷接点センサ）.....1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EC 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず制御盤内に設置して下さい。
- ・ユニットの電源、入出力にはノイズフィルタを入れて下さい。（NAC-06-472 コーセル社製、ZCAT3035-1330 TDK 社製または相当品をご使用下さい。）
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体でCEマーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
交流電源：定格電圧 85～264 VAC の場合
AC 85～264 V、47～66 Hz、約2～3 VA
直流電源：定格電圧 24 VDC の場合 DC 24 V ± 10%、約2 W

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -5～+55℃を超えるような場所、周囲湿度が 0～90% RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

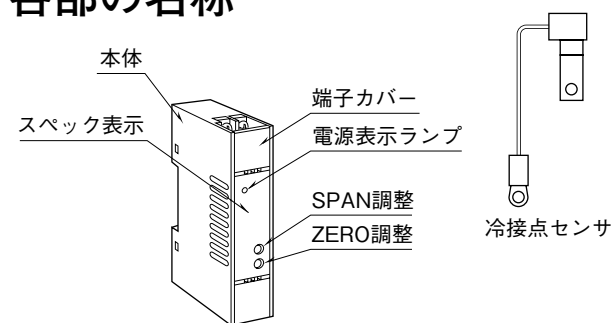
- ・配線（電源線、入力信号線、出力信号線）は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。

- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。
- ・遠方より引込む配線には、各種避雷器を設置して下さい。なお、本器の供給電源が DC 24 V の場合、電源用避雷器には制限電圧が線間 40 V 以下のものをご使用下さい。（推奨品：MDP-D24 エム・システム技研製）

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 20 分の通電が必要です。

各部の名称

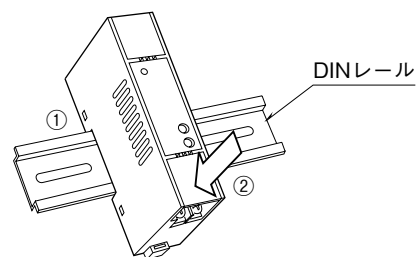


取付方法

本体はスライダのある方を下にして DIN レールに取付けて下さい。

■取付ける場合

- ①本体裏面上側のフックを DIN レールに掛けます。
- ②本体下側を押込みます。



■取外す場合

- ①マイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げます。
- ②手前に引いて本体下側を取外します。
- ③本体上側を DIN レールから取外します。

